



「目標は女子プロサッカー選手です」と、池上さん

輝いています

全日本U-15女子サッカー選手権大会ベスト4

# ひと

いけ がみ せい な  
池上 聖七 さん

## チームを支えるディフェンダーに

**な** だしこジャパンで知られる日本女子サッカー。今年の秋には日本初のプロリーグが開幕を予定しているなど、飛躍のときを迎えているこの競技で活躍しているのが第二中学校3年生の池上聖七さん（15歳・錦町3丁目）です。日テレ・東京ヴェルディベレーザのU-15チームでキヤプテンとして昨年12月の全日本U-15女子サッカー選手権大会に出場し、ベスト4の成績を残しました。

「楽しんでいつもどおりやろうって雰囲気になりました」と振り返ります。そして迎えた後半、チームは自慢のパスサッカーを取り戻し、同点に追いつくと、アディショナルタイムにPKを池上さんが決め、逆転勝利。その後はトラウマを払拭した勢いそのまま勝ち進み、準々決勝では前回敗北した因縁の相手も倒し、ベスト4入りを果たしました。

左サイドバックを任されている池上さんのプレーは守備だけでなく攻撃も一級品。172cmの長身を生かし、相手からのプレスに負けず、スピードに乗ってボールの前に運ぶと、左足からのクロスでチームの得点につなげています。昨年の夏からはU-18チームの練習にも参加して高いレベルで技術を磨き、先月のU-18の全国大会では優勝したメンバーの一人になるなど、活躍の場を広げています。「将来は日テレ・東京ヴェルディベレーザの一員として戦いたいです」と意気込む池上さん。憧れの土光真代選手のようにチームを支えるディフェンダーを目指して、これからもひたむきに走り続けます。

### 今月の河鍋暁斎記念美術館

## 天才絵師の作品 蔵にあり

—No.57—

「天神」とは平安時代に大宰府に左遷され、失意のうち亡くなった悲運の貴族、菅原道真公のことです。道真公は丑年に生まれ、丑の日に亡くなりました。また、亡骸を乗せた牛車の牛が動かなくなり、墓の場所が決まらなかったなど、牛と縁が深いことから、牛は道真公を祀る天神・天満宮の使いとされています。本図は貴族の正装である束帯を身に着け、牛に乗り、書物を手にした姿によって、学問の神様となった道真公を表現しています。

### 河鍋暁斎記念美術館 開催中

「丑年の寿ぎ—新春祝画と七福神—」展 同時開催 特別展  
「暁斎が描いた挿絵本展 Part 1 - 小説・滑稽本の世界 -」

開館 = 午前10時～午後4時  
休館 = 木曜日、毎月26日～末日、  
年末年始  
ところ = 南町4-36-4  
入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円  
小・中学生300円 65歳以上500円  
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は  
学生証をご提示ください  
詳細 = 同館 ☎441・9780



最新の情報は  
美術館のホーム  
ページをご  
参照ください



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ ぎょうさい  
河鍋 暁斎  
天保2年(1831)  
～明治22年(1889)



暁斎筆「牛天神」  
軸装（錦絵縦二枚装）

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます